

決算補足説明資料

2024年12月期 第2四半期

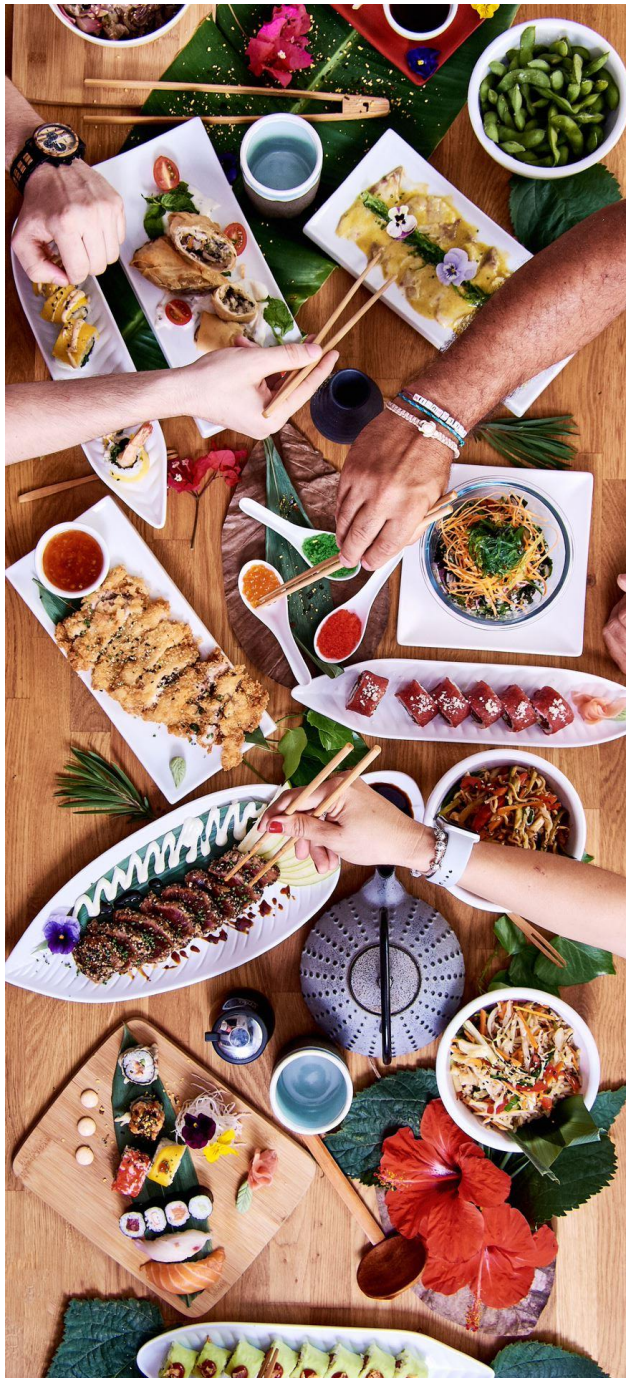
西本Wismettacホールディングス株式会社

2024年8月13日





Table of Contents



1. サマリー
2. 2024年12月期 第2四半期決算概要
3. 株主還元の方針
4. (参考) 中長期の成長に向けた取組
5. (参考) Wismettacグループについて

2024年12月期 第2四半期決算概要

- ◆ 売上高は主力のアジア食グローバル(AFB)事業において前年同期比で増収。
- ◆ 営業利益は前年同期比で減益ながら、中間期予想の水準に着地。
- ◆ アグリ事業の構造改革に伴う希望退職の実施等により、事業構造改善費用として特別損失約3億円を計上。

2023年第2四半期	売上高	1,463億円	営業利益	57億円	経常利益	65億円	中間純利益	44億円*
2024年第2四半期	売上高	1,667億円	営業利益	39億円	経常利益	43億円	中間純利益	24億円*
(中間期予想)		(1,650億円)		(40億円)		(45億円)		(30億円*)

(*) 親会社株主に帰属する中間純利益

株主還元の方針

- ◆ 中間配当は60円：予想から変更なし。
- ◆ 期末配当予想は110円(株式分割後36.66円)を据え置き。

2023年12月期 (実績)	中間	80円	期末	80円	通期	160円
2024年12月期 (実績・予想)	中間	60円	期末	110円 (予想)	通期	170円 (予想)
				(株式分割後36.66円)		(株式分割後56.66円*)

- ◆ 2024年7月1日付で普通株式1株につき普通株式3株の割合で株式分割を実施。

(*) 通期配当金額は中間配当を遡及して分割した場合の金額を記載



Table of Contents

1. サマリー
2. **2024年12月期 第2四半期決算概要**
3. 株主還元の方針
4. (参考) 戦略投資・その他計画の進捗
5. (参考) Wismettacグループについて

2024年12月期 第2四半期決算概要

(単位：億円)

	2023年12月期 第2四半期累計		2024年12月期 第2四半期累計		前年同期比	
		(4-6月)		(4-6月)		
売上高	1,463	765	1,667	865	+204	+14.0%
AFB	1,135	579	1,355	696	+220	+19.4%
アグリ	309	180	293	163	▲17	▲5.4%
国内その他	19	6	20	5	+1	+4.5%
調整項目	-	-	-	-	-	-
売上総利益	298	152	349	181	+51	+17.1%
営業利益又は損失 (△)	57	26	39	25	▲18	▲31.3%
AFB	67	32	55	28	▲12	▲18.2%
アグリ	▲1	▲1	▲7	1	▲7	-
国内その他	▲1	▲2	▲2	▲2	▲1	-
調整項目	▲8	▲4	▲6	▲2	+2	-
経常利益又は損失 (△)	65	31	43	28	▲21	▲32.8%
特別損失	1	▲0	3	3	+2	+212.0%
親会社株主に帰属する中間純利益 又は損失 (△)	44	21	24	15	▲20	▲45.1%
1株当たり中間純利益又は損失 (△) *		101.69円		56.18円	▲45.51円	▲44.8%

- ◆ **売上高：前年同期比+14.0%の増収**
 - **AFB事業：前年同期比+19.4%**
 - 北米：主力商材において単価が低下するも、間口開拓の注力により数量は増加。
 - 欧州：イタリアUniontradeグループ(UT社)の連結子会社化が寄与。
 - その他：国内事業部による輸出事業が堅調。
 - **アグリ事業：前年同期比▲5.4%**
 - 国内青果事業における取扱商材の絞込みや仕入調整が影響。
- ◆ **営業利益：前年同期比▲31.3%の減益**
 - **AFB事業：前年同期比▲18.2%**
 - 適正な価格転嫁に努めるも、インフレ等の影響により前年同期比で販管費が増加。
 - **アグリ事業：輸入青果事業は厳しい業況が継続。**
 - 冷凍加工食材においては順調な出荷を実現し、前年同期比で増益。

[期中平均] 円ドルレート

134.85円

152.25円

+17.40円

[期中平均] 円ユーロレート

145.79円

164.60円

+18.81円

(*) 株式分割後の発行済株式数で算定

(参考) セグメント別・地域別売上・利益構成

※管理会計ベース



(単位：億円)

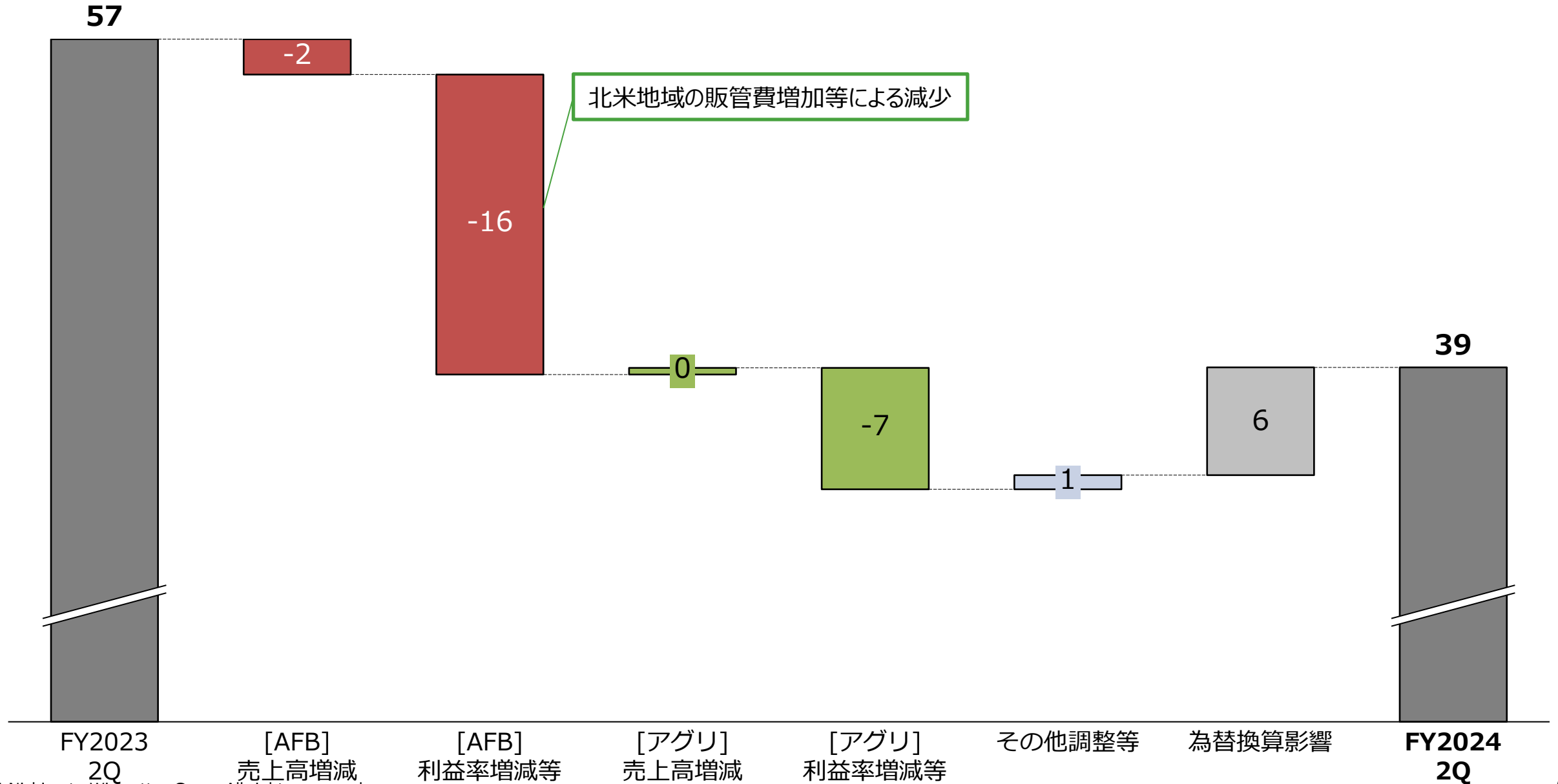
	2023年12月期 第2四半期累計		2024年12月期 第2四半期累計		前年同期比				為替換算影響控除後 前年同期比			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高		営業利益		売上高		営業利益	
AFB事業	1,135	67	1,355	55	+220	+19.4%	▲12	▲18.2%	+80	+7.0%	▲18	▲27.3%
北米	817	60	926	46	+109	+13.4%	▲14	▲23.3%	+3	+0.4%	▲19	▲32.1%
欧州	217	8	314	12	+97	+44.8%	+4	+53.0%	+70	+32.1%	+3	+36.6%
アジア・豪州	64	4	69	2	+5	+7.1%	▲1	▲38.8%	▲2	▲3.2%	▲2	▲43.8%
日本	38	1	47	3	+10	+25.6%	+2	+223.9%	+10	+25.6%	+2	+223.9%
のれん等償却	-	▲4	-	▲6	-	-	▲2	-	-	-	▲2	-
セグメント調整項目	▲1	▲0	▲2	▲2	▲1	-	▲1	-	▲1	-	▲1	-
アグリ事業	309	▲1	293	▲7	▲17	▲5.4%	▲7	-	▲21	▲6.7%	▲6	-
アジア・豪州	55	▲1	39	▲2	▲16	▲28.4%	▲1	-	▲20	▲35.7%	▲1	-
日本	258	1	258	▲6	+0	+0.1%	▲8	-	+0	+0.1%	▲8	-
のれん等償却	-	▲1	-	-	-	-	+1	-	-	-	+1	-
セグメント調整項目	▲4	▲0	▲5	1	▲1	-	+1	-	▲1	-	+1	-
その他事業	19	▲4	20	▲4	+0	+2.4%	+0	-	+0	+2.4%	+0	-
日本	19	▲4	20	▲4	+0	+2.4%	+0	-	+0	+2.4%	+0	-
その他調整・連結調整等	▲1	▲5	▲0	▲5	+0	-	+0	-	+0	-	+0	-
合計	1,463	57	1,667	39	+204	+14.0%	▲18	▲31.3%	+60	+4.1%	▲24	▲41.6%

イタリアUT社連結寄与

BCM社ののれん等償却
(2024年度は計上なし)

営業利益 主な増減要因（前年同期比）

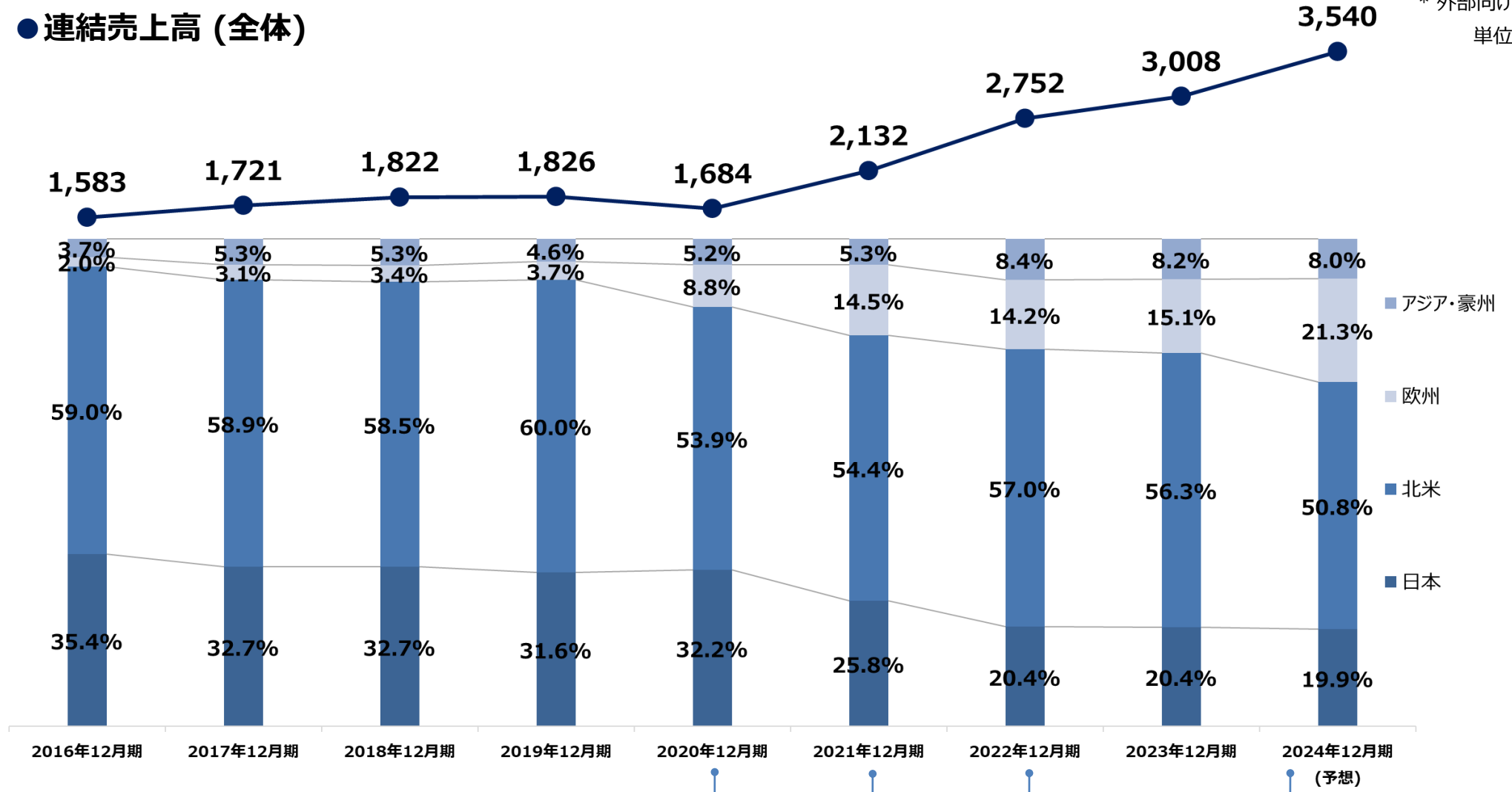
単位：億円



(参考) 地域別売上構成比率

● 連結売上高 (全体)

* 外部向け売上高
単位：億円



2020年12月期: 連結子会社化 SSP (独、2月) C3C (仏、7月)
 2021年12月期: 連結子会社化 Sco-Fro (英国、2月)
 2022年12月期: 連結子会社化 BCM (SGP、1月)
 2024年12月期 (予想): 連結子会社化 UT (伊、2023/10月) ※2024年12月期よりPL反映

連結貸借対照表（要約）

財務方針

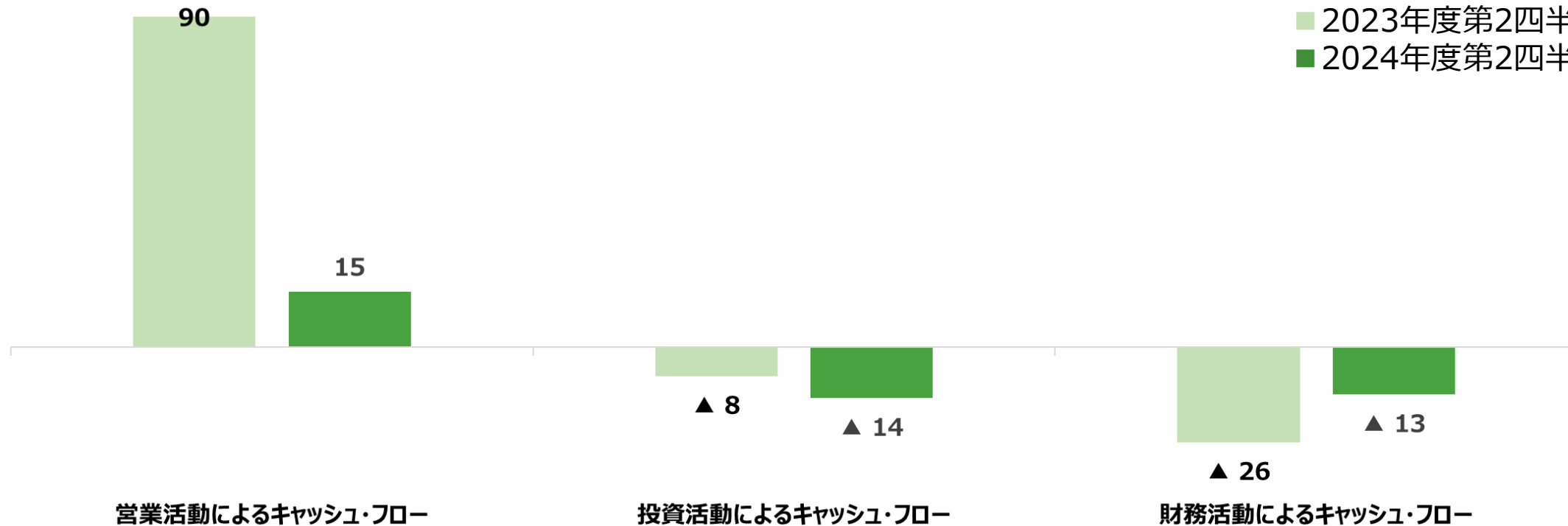
- ◆ プライム市場における持続的な成長のため、健全な財務基盤を維持しながら、積極的な事業拡大に向けた投資と安定的な配当を両立
 - 自己資本比率は、中期経営計画における目標値として30～40%を明示。

（単位：億円）

		2023年12月末	2024年6月末	増減額	主要な増減項目
資産合計	流動資産	1,776	1,940	+164	棚卸資産 +76 現金及び預金 +47
	固定資産	349	396	+47	リース資産（純額） +27
資産合計		2,125	2,336	+211	
負債合計	流動負債	477	610	+133	1年内返済予定の長期借入金 +73 短期借入金 +31
	固定負債	849	822	▲27	長期借入金 ▲51 リース債務 +24
負債合計		1,326	1,432	+106	
純資産合計		799	904	+105	
負債・純資産合計		2,125	2,336	+211	
円ドルレート（期末レート）		141.83円	161.07円	+19.24円	
自己資本比率		38%	39%	+1pt	

連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

■ 2023年度第2四半期累計
■ 2024年度第2四半期累計



主な要因 (前年同期差)	2023年度第2四半期累計	2024年度第2四半期累計
営業活動によるキャッシュ・フロー	棚卸資産の増減額（▲は増加） ▲44 税金等調整前中間純利益 ▲23	有形固定資産の取得による支出 ▲4
財務活動によるキャッシュ・フロー	短期借入金の純増減額（▲は減少） +23 自己株式の取得による支出 ▲8	

(単位：億円)

現金及び現金同等物	2023年12月期 第2四半期累計	2024年12月期 第2四半期累計	前年同期差
期首残高	758	939	+182
増減額	91	44	▲47
中間期末残高	849	984	+134



Table of Contents

1. サマリー
2. 2024年12月期 第2四半期決算概要
- 3. 株主還元の方針**
4. (参考) 中長期の成長に向けた取組
5. (参考) Wismettacグループについて

基本方針

- ◆ 将来の事業展開と財務体質強化のため内部留保を確保しつつ、安定的な配当を継続して実施。
- ◆ 配当性向を重要な指標とし、通期で30%程度の連結配当性向を目安とする。

株式分割・優待制度の変更について

- ◆ 2024年7月1日付で普通株式1株につき普通株式3株の割合で株式分割を実施。
- ◆ 2024年12月31日時点の株主名簿に記載されている株主様に対する贈呈(2025年3月下旬発送予定)をもって、株主優待制度を変更。
 - 「[株主優待制度の変更に関するお知らせ](#)」(5月15日公表)

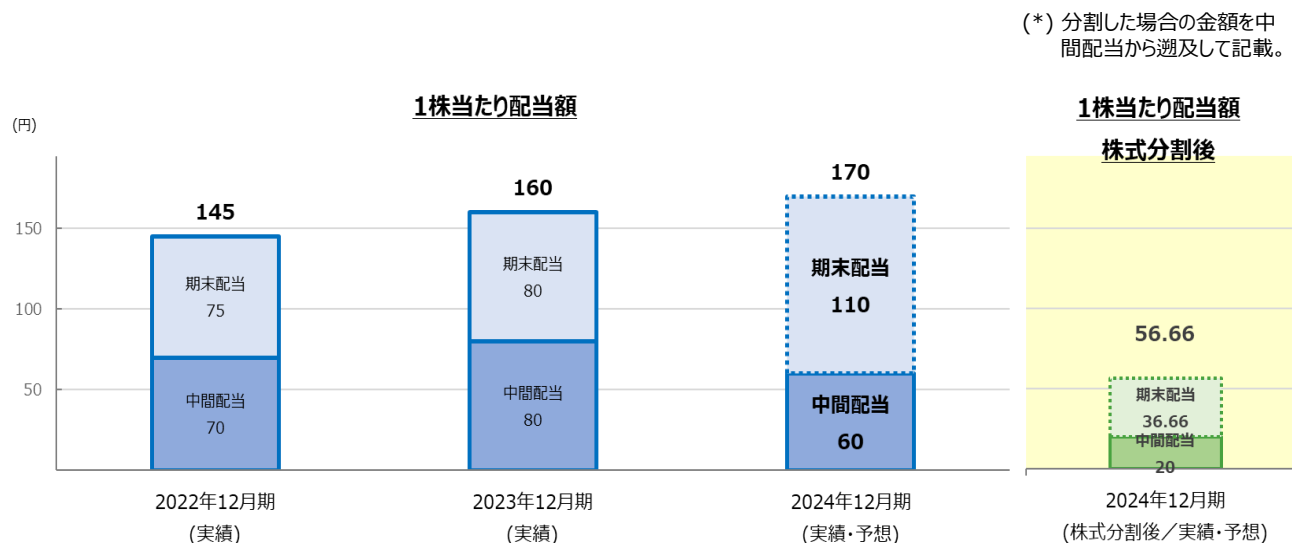
2024年12月期 中間配当・期末配当予想

- ◆ 中間配当は60円：予想から変更なし。
- ◆ 期末配当予想は110円(株式分割後36.66円)を据え置き。

中間 1株当たり 60円

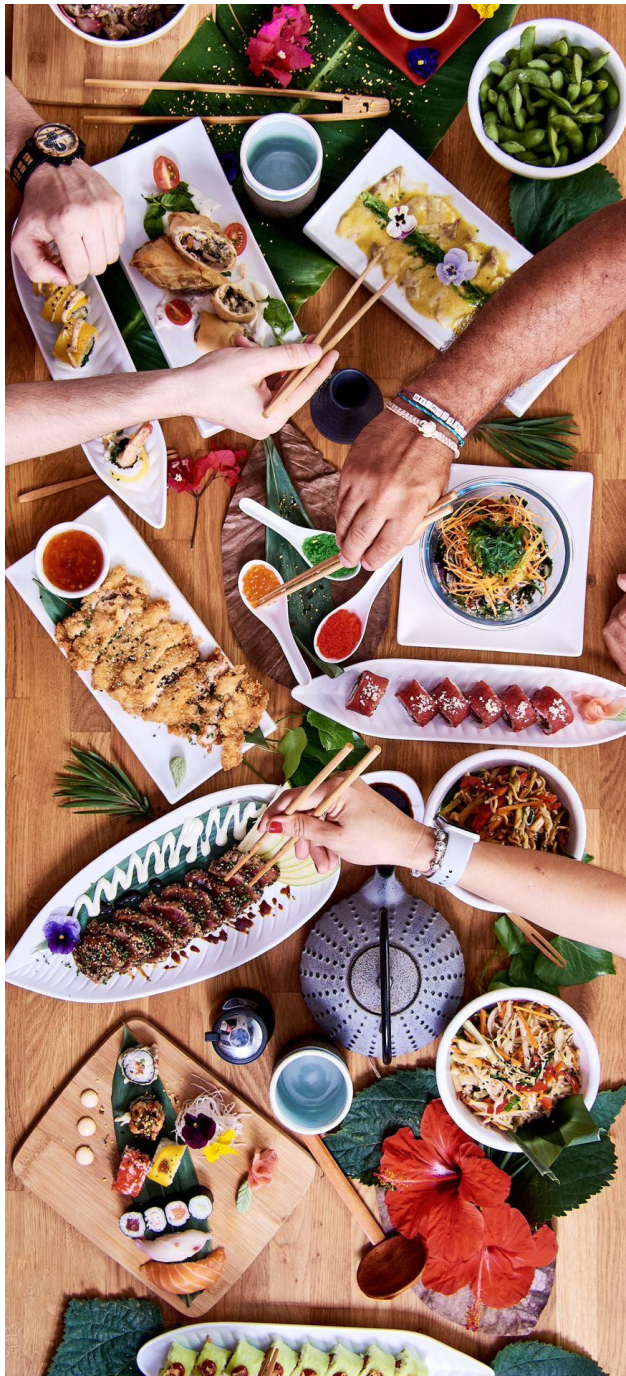
期末 1株当たり 110円
(分割後 36.66円)

年間配当 1株当たり 170円
(分割後 56.66円)*



 A vertical bar with a green top half and a red bottom half, containing the text "Table of Contents" written vertically in white.

Table of Contents



1. サマリー
2. 2024年12月期 第2四半期決算概要
3. 株主還元の方針
4. **(参考) 中長期の成長に向けた取組**
5. **(参考) Wismettacグループについて**

AFB事業

目指す姿



販売

- ◆ 北米における販路・間口拡大
 - アカウント数・メインストリーム向け売上増による数量確保
- ◆ M&A、出資等による拠点・地域カバレッジの拡大

商品

- ◆ PB「Shirakiku」の拡充：顧客ニーズにあった価格帯・ラインナップ
- ◆ メインストリーム向け商材の掘り起こし・開発

SCM

- ◆ 北米におけるSCM改善PJの推進
 - 物流関連データの一元管理、トレーサビリティの強化
 - 調達プロセス・ロジスティクスオペレーションの効率化

アグリ事業

国内事業

- ◆ 収益性回復に向けた構造改革の実施
 - 組織体制の見直し
 - 希望退職制度の実施(*1)、営業拠点の統合
 - 重点商材へのリソース集約
 - 取扱商材の絞込み

海外・輸出等

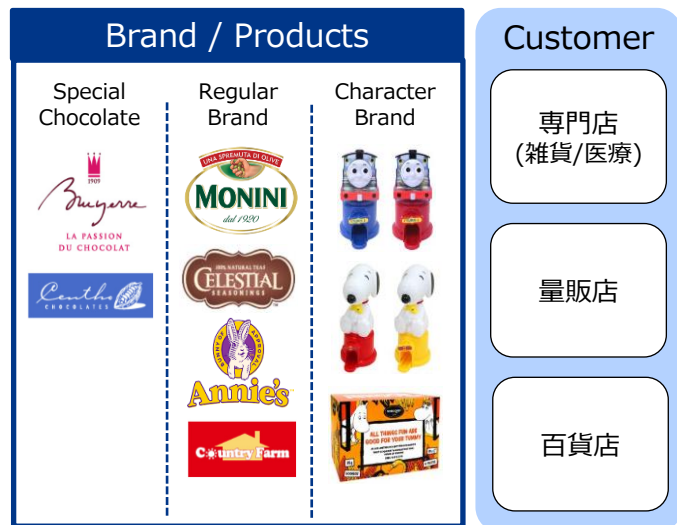
- ◆ 日本産青果物の輸出
 - アジア諸国をはじめとした海外販路の拡大を推進
- ◆ 日本品種のグローバル生産・グローバル販売
 - 弘前大学開発のリンゴ「きみと」の南アフリカでの試験栽培を開始(*2)。日本と南半球諸国から日本品種を供給、通年販売を目指す。



(*1) 当社連結子会社における希望退職者募集の実施結果に関するお知らせ (8/13公表)

(*2) Wismettacフーズと弘前大学がリンゴ品種に関する契約締結と共同研究を実施 (3/19公表)

アメニティ (その他・国内)



北欧テックス・メックス「サンタ・マリア」取扱開始



CENTHOアイスクリーム等オリジナル商品の企画・開発

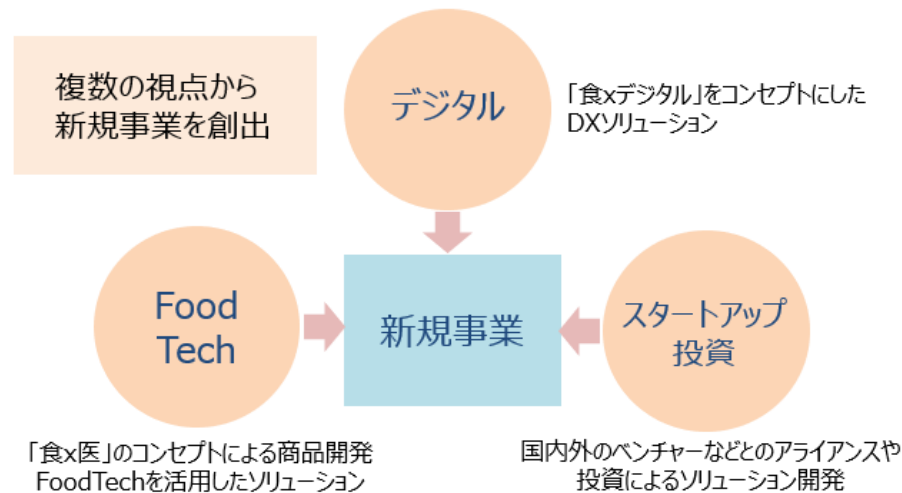
◆ 付加価値の高い商品群の拡充、新しい食の提案

- プレミアムハイエンドブランドの常設販売
- 新規ブランドの取扱開始

◆ 為替の影響を受けにくい事業構造への転換

- ハロウィン・クリスマス・バレンタイン等のシーズン商品に加えて、国内生産を軸とした通年商品群の開発・販売を強化することにより、売上高のベースアップを図る
- 海外輸出も視野に入れた新規販路の獲得

新規事業開発 (その他・国内)



◆ 投資子会社「Wismettac Ventures合同会社」の設立 (2024年5月)

- 食の領域に特化したベンチャーキャピタルファンド等への投資

投資実績

オイシックス・ラ・大地が運営する食領域特化型CVC「Future Food Fund」2号ファンドへ投資

- VC投資先であるスタートアップとのシナジー、新規事業の創出を目指す

◆ 株式会社プライベートポートによる新商流提供

- サプライヤ向けサービス・DXサポートの拡充

<Privateport



Table of Contents

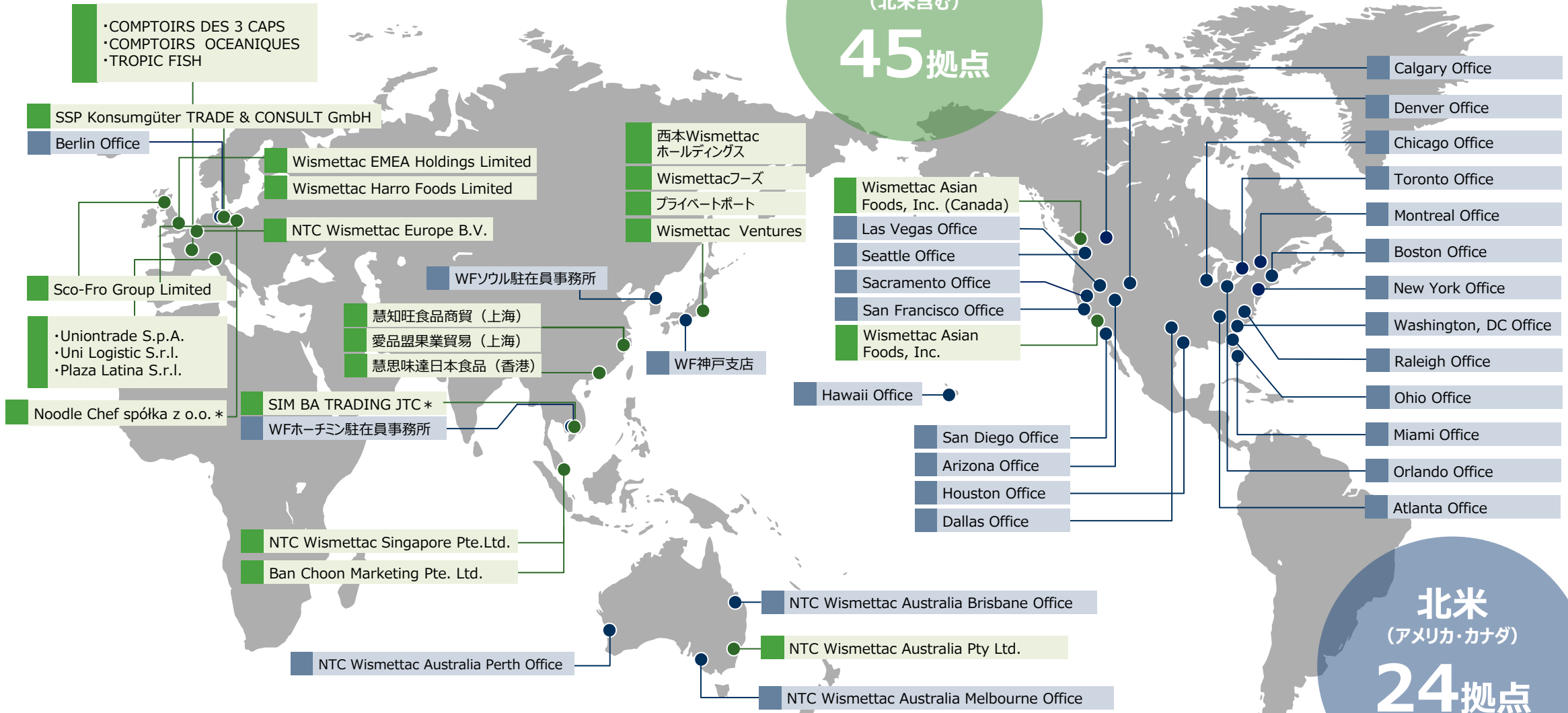
1. サマリー
2. 2024年12月期 第2四半期決算概要
3. 株主還元の方針
4. (参考) 中長期の成長に向けた取組
5. (参考) Wismettacグループについて

◆ 明治45年(1912年)に創業後、世界市場に食材・食品を供給するグローバル企業へと成長

社名	西本Wismettac (ウィズメタック) ホールディングス株式会社 (東証プライム 9260)	
本社	東京都中央区日本橋室町三丁目2番1号 日本橋室町三井タワー15階	
創業	1912年5月	
代表者	代表取締役会長 CEO 洲崎 良朗	
従業員数	2,176名 (うちアジア食グローバル事業：1,656人) [2023年12月末時点]	
事業内容	<p>◆ アジア食品の開発及びグローバルでの販売</p> <p>◆ 青果物全般(フルーツ、その他加工品)の輸入販売、食品メーカー並びに 外食産業向けの食材の供給</p> <p>◆ その他国内向け販売(アメニティ商品、サプリメント、メディカルフード等)</p>	
子会社、関連会社	子会社25社、関連会社2社 [2024年6月末時点]	
拠点所在地	世界45か所 (うち北米拠点：24か所) 日本・米国・カナダ・シンガポール・オーストラリア・オランダ・英国・ドイツ・フランス・イタリア・中国・香港・ベトナム・韓国	
連結売上高	3,008億円 [2023年12月期]	* 海外売上比率 79.6%
連結経常利益	125億円 [2023年12月期]	
自己資本比率	38% [2023年12月期]	

国内・海外のWismettacグループ

グローバル
(北米含む)
45拠点



北米
(アメリカ・カナダ)
24拠点

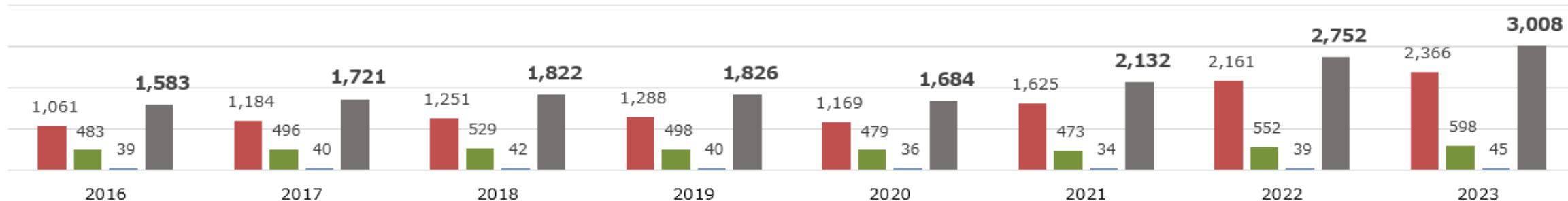
図表中の“WF”は“Wismettacフーズ”の略
* 持分法適用関連会社

Wismettacグループ成長の歩み - 業績推移 -

(億円)

連結売上高 (セグメント別・合計)

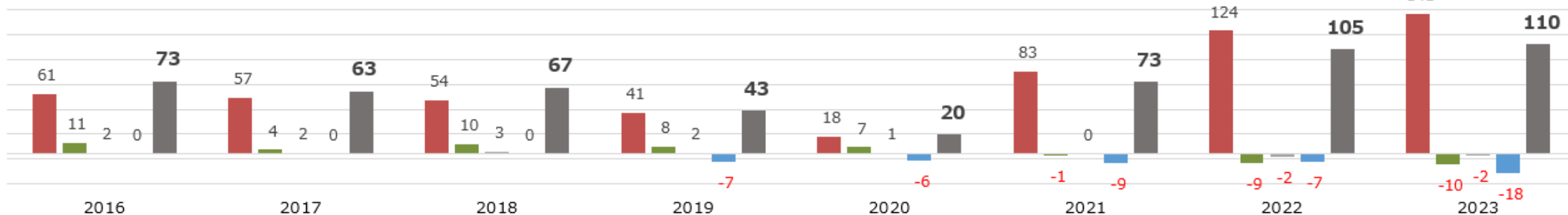
■ アジア食グローバル事業 ■ アグリ事業 ■ その他事業 ■ 合計



(億円)

連結営業利益 (セグメント別・合計)

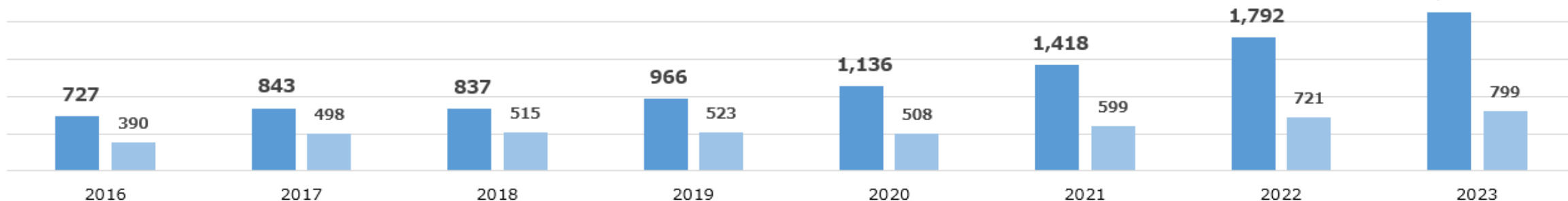
■ アジア食グローバル事業 ■ アグリ事業 ■ その他事業 ■ 調整項目 ■ 合計



(億円)

連結総資産・連結純資産

■ 連結総資産 ■ 連結純資産



注意事項

本資料は、西本Wismettacホールディングス株式会社及び関係会社(以下当社)の財務情報、経営情報等の提供を目的としておりますが、内容についていかなる表明・保証を行うものではありません。

本資料に掲載されている当社の計画や戦略、業績の見通し等は、将来の予測等に関する情報を含む場合があります。これらの情報は現在入手可能な情報に基づくものであり、経済動向、業界での競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度等に関わるリスクや不確実な要素を含んでいます。従って、将来、実際に公表される業績等はこれらの種々の要素によって変動する可能性があり、当社はこれらの情報を使用されたことにより生じるいかなる損害についても責任を負うものではありません。なお、当社は、新たな情報や将来の事象により、本資料に掲載された将来の見通しを修正して公表する義務を負うものでもありません。

資料の作成には、当社は細心の注意を払っておりますが、以下の点についてはあらかじめご了承ください。

- 掲載した情報に誤りがあった場合や、第三者によるデータの改ざん、データダウンロード等によって生じた障害等に関し、当社は事由の如何を問わず、一切責任を負いません。
- 日本語版と英語版の両方が公表されている資料について、日本語版と英語版に相違がある場合は日本語版を正とみなすものとし、翻訳による誤解から生じたいかなる損害についても責任を負いません。

本資料は、投資勧誘を目的にしたものではありません。実際に投資を行う際は、本資料の情報に全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えいただき、投資に関するご決定はご自身のご判断で行うようお願いいたします。

【お問合せ先】

西本Wismettacホールディングス株式会社

経営管理室 03-6870-2015

Email (代表) : <https://www.wismettac.com/ja/contact.html>